

発付年月日	整理番号	事務所区分	管理番号	申告区分
通付日付印	産 器			



年 月 日

法人番号 申告年月日

焼津市長様

所在地 <small>本市町村が支店等の場合は本店所在地と併記</small>	〒	この申告の基礎	1. 法人税の修正申告書の提出による。 2. 法人税の修正、決定、再更正による。
(ふりがな)	(電話)	事業種目	
法人名		期末現在の資本金の額又は出資金の額	兆 十億 百万 千 円
(ふりがな)	(ふりがな)	期末現在の資本金の額及び資本準備金の額の合算額	
代表者氏名	経理責任者氏名	期末現在の資本金等の額	

年 月 日から 年 月 日までの 事業年度分又は連結事業年度分の市町村民税の申告書 ※

摘 要	課 税 標 準	法 人 税 割 額	
		税率 (100)	税 額
(使 途 秘 匿 金 税 額 等) 法人税法の規定によって計算した法人税額	①		
試験研究費の額等に係る法人税額の特別控除額	②		
還付法人税額等の控除額	③		
退職年金等積立金に係る法人税額	④		
課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額 ①+②-③+④	⑤	000	十億 百万 千 円
2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額 $(\frac{⑤}{23} \times 24)$	⑥	000	
市町村民税の特定寄附金税額控除額	⑦		
税額控除超過額相当額の加算額	⑧		
外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額又は個別控除対象所得税額等相当額の控除額	⑨		
外国の法人税等の額の控除額	⑩		
仮装経理に基づく法人税割額の控除額	⑪		
差引法人税割額 ⑤-⑦+⑧-⑨-⑩-⑪	⑫		00
既に納付の確定した当期分の法人税割額	⑬		00
租税条約の実施に係る法人税割額の控除額	⑭		
この申告により納付すべき法人税割額 ⑫-⑬-⑭	⑮		00
均 等 割 額	算定期間中において事務所等を有していた月数	⑯	円 × $\frac{⑮}{12}$
	既に納付の確定した当期分の均等割額		⑰
	この申告により納付すべき均等割額 ⑰-⑱		⑲
この申告により納付すべき市町村民税額 ⑮+⑲			⑳
⑳のうち見込納付額			㉑
差 引 ⑳-㉑			㉒

関与税理士名

当 該 市 町 村 内 に 所 在 す る 事 務 所 、 事 業 所 又 は 寮 等		分 割 基 準		当 該 市 町 村 分 の 均 等 割 の 税 率 適 用 区 分 に 用 い る 従 業 者 数
名 称	事 務 所 、 事 業 所 又 は 寮 等 の 所 在 地	当 該 法 人 の 全 従 業 者 数	左 の うち 当 該 市 町 村 分 の 従 業 者 数	
			人	人
合 計		⑳	㉑	㉒

指 定 場 合 の 市 町 村 民 税 の 計 算	区 名	区 画 月 数	従 業 者 数	均 等 割 額	決 算 確 定 の 日	法人税の申告書の種類	青色・その他
					円	・	
				00	解 散 の 日	・	
				00	残 余 財 産 の 最 後 の 分 配 又 は 引 渡 し の 日	・	翌 期 の 中 間 申 告 の 要 否
				00	法 人 税 の 開 示 規 定 の 資 本 等 の 額 又 は 資 本 割 別 資 本 金 等 の 額	円	法人税の申告期限の延長の有無
				00	この申告が中間申告期間	・	有・無
				00	還付を受けようとする金融機関及び支払方法	銀行	支店
				00	還付請求税額	口座番号 (普通・当座)	
				00	法第15条の4の徴収猶予を受けようとする税額	十億 百万 千 円	

(電話)